

## 県内の病院で働く薬剤師不足・・・ 御前崎市の病院へ薬剤師派遣開始

厚生労働省が2023年に公表した「薬剤師偏在指標」によると、静岡県は病院薬剤師について薬剤師少数県であり、西部医療圏を除く7医療圏が薬剤師少数区域に分類されています。また、将来時点（2036年）においても、静岡県は薬剤師少数県であり、全8医療圏が薬剤師少数区域と予想されるといわれています。静岡県内では病院薬剤師が100人以上不足している状況にあります。（参考：第9次静岡県保健医療計画より）

当院では、2024年9月から、市立御前崎総合病院へ薬剤師の派遣を開始しました。当院で3年以上の経験がある薬剤師1名が出向しています。出向した薬剤師は調剤業務や病棟薬剤業務、薬剤管理業務等を支援しています。

今回の派遣先である市立御前崎総合病院の中東遠医療圏は、賀茂医療圏に次ぎ病院薬剤師少数区域です。市立御前崎総合病院は中東遠医療圏において地域医療を支え中核となる病院の一つであり、薬剤師による病棟やチーム医療等の業務の充実が必須ですが、薬剤師不足による業務の縮小が余儀なくされていました。

一方、当院は平均在院日数が約11日前後の急性期病院であり、当院薬剤師は急性期の薬物療法に関わる事が多く、転院後の慢性期での薬物療法の経験が乏しい現状もあります。

そこで、今回、回復期リハビリ病床もある市立御前崎総合病院に出向することにより、転院先の病院でどのように薬剤師が患者に関わっているのか、また、抱えている課題について理解し、自院に戻った際に出向先での経験を活かしながら連携体制を構築していく予定です。

ぜひ、貴社にて紹介いただけますと幸いに存じます。